

# 滋賀県商工観光労働部版 私たちのSDGs行動宣言！



『SDGs』とは、持続可能な社会をつくるために、2030年までに発展途上国だけでなく、先進国も含めた国際社会が達成を目指して取り組むべき17の目標の事です。2015年9月の国連サミットで採択され、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの課題を統合的に解決することが求められています。

**【宣言文】**  
**私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、SDGsに取り組むことを宣言します！**

貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう

**職場で！**

**私たちは、次のアクションに取り組み、共感の輪を広げていきます！**

	効率的な事務を心掛け、業務時間内に仕事を終えることにより、ワークライフバランスを実現する。		離転職者等の職業能力を開発し、働きがいのある就労を支援するとともに、企業の高度人材確保にも貢献する。		男女の違いを理解した上で、トランスジェンダーなどにも理解を深めながら、日常的な会話から、すべての人が気持ちよく過ごせる職場のムード作りを行う。		日常の仕事に過去の常識を取り払い、例え親用でも何でも最先端の技術を取り入れる事は出来ないか考える習慣を付ける。
	出張時は公共交通機関を優先利用する。		名刺にSDGsのロゴを活用し、発信する。		省エネを意識し、使用機器の節電に努める。		常に省エネを意識し、不要な照明の消灯や離席時のPC蓋など節電に努める。
	業務時間内に予定した仕事を終えることができるように、効率的な仕事の進め方を考え、実行する。		技術指導を通じて、専門的なスキルにアクセスできる場を提供する。		事業の活用を募集するチラシにSDGsのロゴを活用し、発信する。		資料や名刺にSDGsのロゴを活用し、発信する。SDGsに関連する講演等へ協力する。
	業務時間内に予定した仕事を終えることができるように、効率的な仕事の進め方を考え、実行する。		在室時の室温を夏季28℃以上、冬季18℃以下に設定実施する。パソコンの蓋閉じや不在時の消灯を励行する。		農工商連携の商品開発研究を推進する		滋賀県産産物振興ビジョンの改訂に向け、SDGs(目標9、9、17等)の視点を加えて、検討を行う。
	施策等で連携・協働する市町や団体等と接する機会をSDGsの普及啓発機会として活用する。また、資料や名刺にSDGsのロゴを活用し、発信する。		新たな技術を作り出すこと、企業への支援を通じて産業と技術革新の基盤づくりに貢献します		企業が先端技術を活用し技術開発に取り組める「高度モノづくり試作開発センター」を整備し、県内製造業の技術革新と競争力強化を図る。		常に省エネを意識し、不要な照明の消灯や離席時のPC蓋など節電に努める。
	永く愛用できる製品づくりのための研究および業務に取り組む。		技術相談、依頼試験、設備使用等とおして、県内企業の行う産業、技術革新に係る研究開発の支援を行う。		出張時は公共交通機関を優先利用する。公用車、私用車は極力利用しない。近隣箇所(可能なところ)には徒歩や自転車を活用する。		不要な照明の消灯や離席時等のディスプレイ電源オフなどの省エネに努める。
	業務時間内に予定した仕事を終えることができるように、計画的な仕事の進め方を考え、実行する。		業務時間内に仕事を終えることができるようにする。		地域連携により、天然植物資源の有効利用および産業廃棄物の削減、効率的な生産にむけた研究開発事業の実施		地域連携により、信楽焼産地を担う後継者等の育成及び起業支援のために、入居事業(商業技術者養成)および機務開放事業を実施
	仕事は段取り八分。休むことも仕事のうちとし、逆算して仕事の段取りを組む。		時間はコスト。会議時間は出来るだけ短くすることを心がける。		企業や団体等と接する機会をSDGsの普及啓発機会として活用するため、SDGsのロゴを使用した名刺により、発信する。		地域の産業を支える一助として、近江の地場産品や伝統的工芸品を意欲的に購入する。
	温度設定など環境へ配慮した冷暖房使用に努める。		業務時間内に予定した仕事を終えることができるように、効率的な仕事の進め方を考え、実行する。		常に省エネを意識し、不要な照明の消灯や節電に努める。		企業の工業製品等の試験や測定において、技術指導を行う。
	温度設定など環境へ配慮した冷暖房使用に努める。		常に省エネを意識し、不要な照明の消灯や離席時のPC蓋など、節電に努める。		現場屋内全体の温度調整が必要な箇所は、作業時のみスポットクーラー等を利用するようにし、環境負荷に寄与する。		試験研究に関して、なるべくその後の製造手法が省エネルギーになるよう心がけ、技術基盤と革新を図る。
	薄着をして冷房の温度を上げる。		効率的な仕事の進め方を考え、実行する。		人の役に立つ研究開発を心がける。		常に省エネを意識し、不要な照明の消灯や離席時のPC蓋など、保温機器の蓋など節電に努める。
	常に省エネを意識し、不要な照明の消灯などの節電に努める。		不要な照明の消灯などの節電に努める。		業務間インターバルが確保できるよう、各担当者の業務の進捗管理等を通じて、効率的な業務運営を心がける。		安全運転・ゆずり合い運転・エコ運転を実践する
	昼休み消灯と晴れた日の窓側消灯を実践する		常に省エネを意識し、不要な照明の消灯や離席時のPC蓋など、保温機器の蓋など節電に努める。		性別にかかわらず、仕事にやりがいや意欲がもてるように、風通しのよい職場づくりに努める。		出張時は公共交通機関を優先利用する。
	物品調達を環境配慮製品から選択する。		業務時間内に予定した仕事を終えることができるように、効率的な仕事の進め方を考え、実行する。		障害者や外国人など様々な特性を持つ求職者の職業能力の向上と就労に効果的に寄与する訓練計画を策定・実施する。		出張時は公共交通機関の利用を優先する。
	県内の職員を含め、業務時間内に予定した仕事を終えることができるように、効率的な仕事の進め方を考え、実行する。		物品や役務サービスを障害福祉サービス事業所やシルバー人材センター等から優先調達のする。				